◇会議報告◇

2025 年上期　IFASS 会議報告

ASBJ 委員長兼 SSBJ 委員長　川西 安喜
ASBJ 常勤委員　山口 奈美

1. はじめに

会計基準設定主体国際フォーラム（International Forum of Accounting Standard Setters; IFASS）は、各法域の基準設定主体並びに会計基準及びサステナビリティ開示基準に関連する諸問題に対する関心の高いその他の組織による非公式のネットワークである。IFASS 会議は、毎年、春と秋の 2 回開催されている。今回の会議は、イタリアのナポリの会場における対面とオンラインのハイブリッド形式で開催された。会議には各法域の基準設定主体からの代表者に加えて、議長を務める Chiara Del Prete 氏が所属するエフラグ（EFRAG）や他の地域グループの代表者などが参加した。企業会計基準委員会（ASBJ）及びサステナビリティ基準委員会（SSBJ）からは、筆者が対面で出席した他、一部研究員がオンラインで出席した。

本稿では、本会議の主要なセッションの概要について紹介する。なお、本稿における筆者の意見にわたる部分は、筆者の私見であり所属する団体・組織の公式見解ではないことをあらかじめ申し添える。

2. 全体のスケジュール

今回の会議の議題は、次のとおりであった。なお、表中の「FR」は財務報告に関する議題であることを表し、「SR」はサステナビリティ報告に関する議題であることを表している。

	議　題	担　当
2025 年 3 月 12 日		
1	歓迎の挨拶及び会議の全体概要	Chiara Del Prete 氏（IFASS 議長）、Michele Pizzo 氏（イタリアの会計基準設定主体：OIC）、Claudio Teodori 氏（イタリアの会計・ビジネス経済学会：SIDREA）
2	ESG 及びサステナビリティ報告のマクロ・トレンド	モデレーター：Chiara Del Prete 氏（IFASS 議長）

	議　題	担　当
		Tim Mohin 氏（Boston Consulting Group）[1]、Carol Adams 氏（GRI グローバル・サステナビリティ基準審議会：GSSB）、Sue Lloyd 氏（国際サステナビリティ基準審議会：ISSB）、Patrick de Cambourg 氏（エフラグ：EFRAG）、川西安喜（SSBJ 委員長）
3	FR： ● キャッシュ・フロー報告	Claudio Teodori 氏（OIC）、Nicola Moscariello 氏（OIC）、Tommaso Fabi 氏（OIC）、Pauline Wallace 氏（英国エンドースメント審議会：UKEB）[2]
	SR： ● 生物多様性、生態系及び生態系サービス	モデレーター：Eric Duvaud 氏（EFRAG） Jack Bisset 氏（ニュージーランド外部報告審議会：NZ XRB）、Bryan Esterly 氏（ISSB）、Bastian Buck 氏（グローバル・レポーティング・イニシアティブ：GRI）、Ny Yoon 氏（韓国サステナビリティ基準委員会：KSSB）、Sarah-Jayne Dominic 氏（英国財務報告評議会：UK FRC）
2025 年 3 月 13 日		
4	導入及び今後の対応	Chiara Del Prete 氏（IFASS 議長）
5	IASB アップデート	Linda Mezon-Hutter氏（IASB副議長）
6	ESRS のアップデート及び EU 域外基準	Patrick de Cambourg 氏（EFRAG）
–	故 Alberto Giussani 氏（OIC）の追悼	Simone Scettri 氏（OIC）、Sue Lloyd 氏（ISSB 副議長）、川西安喜（ASBJ/SSBJ 委員長）
7	FR： ● 法域のアップデート	Jae-Ho Kim 氏（韓国会計基準委員会：KASB）、Jenny Carter 氏（英国財務報告協議会：UK FRC）、Stephen Maloney 氏（UK FRC）、Leonardo Piombino 氏（OIC）、Silvia Persichetti 氏（OIC）、Lewis Hussein 氏（ジンバブエの会計基準設定主体：PAAB）、Hernán Pablo Casinelli 氏（ラテンアメリカ会計基準設定主体グループ：GLASS）
	SR： ● セクター分類及び SASB アップデート	モデレーター：Kristian Koktvedgaard 氏（DSSC デンマーク） Bryan Esterly 氏（ISSB）、パネリスト：Istini T. Siddharta 氏（インドネシアの会計士協会：IAI）[3]、Sung Ho Joo 氏（KSSB）、Jack Bisset 氏（NZ XRB）

[1] オンラインでの参加であった。
[2] オンラインでの参加であった。
[3] オンラインでの参加であった。

	議　題	担　当
	● 気候変動：GHG プロトコル － 新しいガバナンス及び作業計画 ● 台湾における IFRS サステナビリティ開示基準導入のための構築、及びデジタル報告	Alexander Bassen 氏（GHG プロトコルの独立基準委員会）[4] Doris Yi Hsin Wang 氏（台湾会計研究発展基金会：ARDF）、Albert Chou 氏（ARDF）
8	FR： ● 引当金－的を絞った改善	モデレーター：Katharine Christopoulos 氏（カナダ会計基準審議会：AcSB） Pierre Martin 氏（フランス国家会計基準局：ANC）、Sébastien Harushimana 氏（EFRAG）、Seema Jamil-O'Neill 氏（UKEB）
	SR： ● サステナビリティ開発に関する法域アップデート	Ana Tercia Lopes Rodrigues 氏（ブラジル連邦会計評議会：CFC）、Reto Zemp 氏（Swiss GAAP FER）、Sabir Sheikh 氏（Swiss GAAP FER）
9	IFRS-IC の役割を含む一貫した適用	モデレーター：Katharine Christopoulos 氏（AcSB） Jenifer Minke-Girard 氏（IASB）[5]、Hernán Pablo Casinelli 氏（GLASS）
10	基準設定における AI 及びデジタル技術－約束から実現へ	モデレーター：Charis Halliday 氏（オーストラリア会計基準審議会：AASB） Madhu Mathew 氏（IFRS 財団）[6]、Phil Fitz-Gerald 氏（UK FRC）
11	FR： ● 中小企業（SMEs）向け IFRS 基準	Tinyiko Denhere 氏（IASB）、Helen Lloyd 氏（IASB）、Jianqiao Lu 氏（IASB 理事）[7]、Yoke Pin Foo 氏（マレーシア会計基準審議会：MASB）、Jenny Carter 氏（UK FRC）
	SR： ● OECD による SME のイニシアティブ	Miriam Koreen 氏（経済協力開発機構：OECD）、Paolo Marullo Reedtz 氏（OIC）
2025 年 3 月 14 日		
12	導入及び今後の対応	Chiara Del Prete 氏（IFASS 議長）

[4] オンラインでの参加であった。
[5] オンラインでの参加であった。
[6] オンラインでの参加であった。
[7] オンラインでの参加であった。

	議　題	担　当
13	財務諸表の情報とサステナビリティ報告のコネクティビティー実践的アプリケーション	モデレーター：Seema Jamil-O'Neill 氏（UKEB） Amelia Sharman 氏（NZ XRB）、Simone Scettri 氏（OIC）
14	FR： ● 持分法－根本的な見直しは必要か？	モデレーター：Sébastien Harushimana 氏（EFRAG） Subin Kim 氏（KASB）、Yoke Pin Foo 氏（MASB）、Bjørn Einar Strandberg 氏（ノルウェーの会計基準設定主体：NASB）、Tommaso Fabi 氏（OIC）
	SR： ● ESG の「S」－ 人的資本に焦点を当てる	モデレーター：Gemma Sanchez Danes 氏（EFRAG） Bryan Esterly 氏（ISSB）、Bastian Buck 氏（GRI）、Jack Bisset 氏（NZ XRB）、Sarah-Jayne Dominic 氏（UK FRC）
15	無形資産	Hyungjin Cho 氏（韓国会計基準院：KAI）、Carolyn Cordery 氏（NZ XRB）
16	WICI による無形資産の戦略的なイニシアティブ	Stefano Zambon 氏（WICI）、Georg Lanfermann 氏（ドイツ会計基準委員会：DRSC）、Hyungjin Cho 氏（KAI）
17	会計上の重要課題への対応	モデレーター：Yoke Pin Foo 氏（MASB） Keith Kendall 氏（AASB）、Armand Capisciolto 氏（AcSB）、Seema Jamil-O'Neill 氏（UKEB）
18	今後の進め方及び閉会挨拶	Chiara Del Prete 氏（IFASS 議長） Armand Capisciolto 氏、及び Keith Kendall 氏（次期 IFASS 共同議長）

3. 主な議事概要

(1) ESG 及びサステナビリティ報告のマクロ・トレンド

Tim Mohin 氏（Boston Consulting Group）により ESG 及びサステナビリティ報告のマクロ・トレンドに関するプレゼンテーションが行われた後、Carol Adams 氏（GSSG 議長）による GSSB のアップデート、Sue Lloyd 氏（ISSB 副議長）による ISSB のアップデートが提供された。

その後、Chiara Del Prete 氏がモデレーターを務め、パネリストより SSBJ 基準、欧州サステナビリティ報告基準（ESRS）、ISSB 基準及び GRI スタンダードの動向について報告が行われた。

SSBJ 委員長として登壇した筆者（川西）からは、SSBJ 基準は、ISSB 基準の要求事項を取り入れており、SSBJ 基準独自の取扱いを選択しない場合には、SSBJ 基準に準拠した開示が ISSB 基準にも準拠した開示になることを意図して開発されたことが説明された。また、現時点では、我が国の規制当局により SSBJ 基準の適用対象企業について明確な決定はなされていないも

のの、サステナビリティ情報を任意で開示する一部の企業では、SSBJ 基準の適用に向けた準備が進められていることが考えられる旨が報告された。

Patrick de Cambourg 氏（EFRAG サステナビリティ報告審議会（SRB）議長）からは、欧州のオムニバス法案による企業サステナビリティ報告指令（CSRD）及び ESRS に対する影響について説明された。また、Sue Lloyd 氏により、企業の報告システムの効率化のためのサステナビリティ報告基準における相互連携の重要性が述べられた。さらに、Carol Adams 氏により、企業が依存する広範なステークホルダーに対する説明責任の観点からみた GRI スタンダードの有用性について強調された。

(2) ESRS のアップデート及び EU 域外基準

Patrick de Cambourg 氏により、ESRS のアップデートとして、①ESRS に基づく最初のサステナビリティ報告の開示の状況、②適用ガイダンス及び教育的資料を通じた ESRS の適用支援、③オムニバス法案による CSRD 及び ESRS への影響、並びに④中小企業向け任意のサステナビリティ報告基準（VSME）の公表について報告がなされた。

③オムニバス法案については、CSRD 適用企業の縮小が提案されているものの、大規模の上場企業はすでに ESRS を適用しているため EU 市場における影響は限定的であると考えられること、また、ESRS の簡素化は最初のサステナビリティ報告の開示の状況を鑑み検討する予定である旨が述べられた。さらに、サステナビリティ報告審議会（SRB）が 2025 年 1 月に事前承認した EU 域外企業向け ESRS（N-ESRS）の公開草案の内容及び動向についても触れられた。

(3) 故 Alberto Giussani 氏（OIC）の追悼

昨年逝去した OIC（イタリアの会計基準設定主体）の Alberto Giussani 氏を偲び、Chiara Del Prete 氏がモデレーターを務め、Simone Scettri 氏（OIC）、筆者（川西）及び Sue Lloyd 氏により、同氏との思い出などについてコメントが寄せられた。

(4) 会計上の重要課題への対応

Yoke Pin Foo 氏（MASB）から、IASB のアジェンダ協議に関するする課題認識及び今後 IASB が作業計画に追加する可能性があるプロジェクトに対する調査結果等について、紹介がなされた。

その後、パネリストとして登壇した Keith Kendall 氏（オーストラリア AASB 議長）、Armand Capisciolto 氏（カナダ AcSB 議長）、Seema Jamil-O'Neill 氏（UKEB）より、IFRS 第 8 号「事業セグメント」の要改善点、他の基準設定主体によるリサーチ結果の活用、IFRS 第 3 号「企業結合」の適用に関するクロスカッティングな論点の存在、IASB の適用後レビュー（PIR）の目的及びプロセスの見直し、財務報告とサステナビリティ報告との境界等コネクティビティに関連する論点の存在等の様々なトピックについて、それぞれのパネリストの見解が示された。

(5) 今後の進め方及び閉会挨拶

Chiara Del Prete 氏より、同氏が議長を務めた過去 3 年間の IFASS 会議の運営及び参加者からのフィードバックなどについて総括された。その後、IFASS の使命について改めて確認された後、今後共同議長を務めることとなった Armand Capisciolto 氏及び Keith Kendall 氏への議長の引継ぎが行われた。

4. 次回の予定

次回の IFASS 会議は、2025 年 9 月に英国のロンドンで開催される予定である。また、次々回の会議は、2026 年 4 月にオーストラリアのメルボルンで開催される予定であることも発表された。

以 上